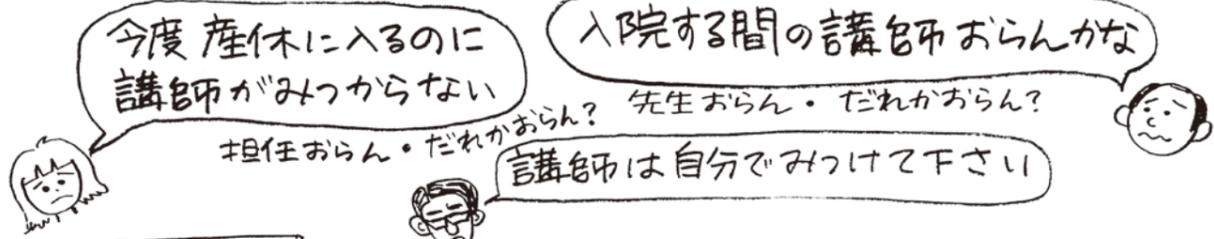


特集 教師が足りない!!

※講師とは臨時採用教員のことで



講師の西配置 → 石川県では29校31人が未西配置となっている (R4. 6.1 現在)

講師がいなくなるとどんな状態に?

- いろんな先生が入れ替り、クラスに入り子どもは落ち着かない。
- 同じ教員が2クラス同時に授業することもある。大急ぎ、早口
- 自分のクラスでない授業もやり、宿題の丸つけ、保護者対応もすることとなり負担が増加する。



盛本芳久の県議会の質問

Q 盛本 講師が西配置されない学校では、現場教員の持ち時数追加等、大きな負担が生じている。教育委員会事務局からの出向で目かけることは不可能なのか。

A 教育長 業務負担が大きいことは承知しているが、難しい。

Q 盛本 先日、教育研究者から「#教員不足をなくそう緊急アクション」と題して提言を行った。緊急処置で実行済みでないものがある場合は「早急に実施することを提案する。」

A 教育長 学校現場の深刻な課題となっている教員不足の解消にむけた政策提言を行ったことは承知している。引き続き優秀な人材確保に努める。

Q 盛本 提言では根本治療も提案されている。文科省と財務省に教育予算の増額と定数増によって根本治療を行うよう陳情していただきたい。

A 知事 定数増を含め必要な教育予算を確保することは不可欠である。これまでも教員定数の改善、加配措置の拡大などを求めてきた。引き続きさまざまな機会を通じて強く国に求めていく。

「#教員不足をなくそう緊急アクション」

- 教員確保のため速やかに取り組むべき → 緊急処置
 - ▷ 教員採用試験の改善
 - ▷ 教職に就くと奨学金返済が免除される制度の復活
 - ▷ 非正規教員が採用試験を経ずに正規に移行できる仕組み
 - ▷ 非正規教員の待遇改善
- 数年かけて教員配置を充実させる → 根本治療
 - ▷ 基礎定数の改善
 - ▷ 義務教育費国庫負担割合を 1/3 → 1/2 に戻す
 - ▷ 非正規教員割合の上限設定
 - ▷ 教員の担当授業時数の上限設定

末富芳日本大学教授や教育研究者の妹尾昌俊氏のグループ

...この半年 PICK UP!

ロシア、ウクライナに侵攻 2月24日

- 国連憲章違反の侵略戦争 暴挙
- 核使用の危機、原発も標的に

石川県知事選挙 馳氏当選 3月13日

- 28年間の谷本県政の継承を掲げ馳浩氏当選
- 国政との対峙、地方自治確立に期待

教員免許更新制廃止法案可決 4月12日

- 多忙化と教員不足を招いた制度ついに廃止
- 新たな研修制度による教員の負担増懸念

原発関連裁判 札幌地裁と東京地裁 原告勝訴

- 札幌地裁 泊原発 北海道電力に運転認めず 5月31日
- 東京地裁 東電旧経営陣に13兆円賠償命令 7月13日

安倍元首相銃撃により死亡 7月8日

- 容疑者の動機は世界平和統一家庭連合(旧統一教会)への恨み
- 団体と自民党右派などとの間の関係、徹底説明は国会の責務

参議院議員選挙 野党敗北 7月10日

- 野党共闘進まず一人区で自民党勝利
- 改憲勢力国会両院で2/3超を維持拡大
- 社民党 得票増で国政政党としての要件確保

子ども未来

発行責任者 盛本芳久
金沢市香林坊 1-2-40 教育会館内
TEL.076-223-1444
<http://molimoto.com>

盛本よしひさ ホームページ <http://molimoto.com/>

盛本芳久 facebook <https://www.facebook.com/yoshihisa.morimoto.52>

志賀原秀を廃炉に! 訴訟原告団 ホームページ <https://shika-hairo.com/>

石川県議会ホームページ <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/gikai/index.html>

嘘をつか、嘘を許さず

次の言葉は、ガンジーが示した「7つの社会的罪(Seven Social Sins)」です。

1. 理念なき政治 Politics without Principle
2. 労働なき富 Wealth without Work
3. 良心なき快楽 Pleasure without Conscience
4. 人格なき学識 Knowledge without Character
5. 道徳なき商業 Commerce without Morality
6. 人間性なき科学 Science without Humanity
7. 献身なき信仰 Worship without Sacrifice

ガンジーの慰霊碑を囲む壁の外側に刻まれています。2011年5月23日の参議院行政監視委員会で参考人として出席した京都大学原子炉実験所助教小出裕章氏の原子力発電に関わる発言でも引用されました。多くの人の心に深く刻まれる言葉となっています。

東日本大震災、福島第一原発事故を目の当たりにし、多くの日本人は自らの生き方や社会のあり方を見直す必要があると感じました。このガンジーの視点で価値観を転換することで政治や経済活動も平和で持続可能な方向に進むのではと、私は期待しました。しかし、この10年余り、少なくとも日本社会はそうはなっていません。政治権力者や一部の経営者たちは、お金と自らの地位のために、弱者・少数者に目を向けようとせず、不都合なことは隠し、改ざんし、嘘が明らかになっても開き直り、これを正そうとする者に圧力をかけ、差別さえする状況です。政府とその取り巻きは7つの社会的罪を犯し続け、ついには7番目「献身なき信仰」は政治をゆがめ、多数の人を不幸に落とし入れ、殺人という犯罪まで引き起こさせてしまいました。私たちは皆幸福になる権利があると憲法は謳っています。政治はその権利を守るためにあるのであって、邪魔するなど論外です。

7つの罪の解消は「嘘をつかない」「嘘を許さない」という当たり前の道徳に行き着くように思います。真実を見抜き、嘘つきは許さないという市民の自覚と闘いが求められています。社会とつながる、参加する、発言・発信する、選挙に行く。すべては私たちの行動にかかっていると思うのです。

盛本芳久

